

日本の未来を見据えて撃つ！  
そんなあなたにホットな話題をお送りする  
最先端オピニオン紙

# 日本シティジャーナル

発行: ネットハウス  
〒286-0825 千葉県成田市新泉 14-3  
TEL 0476-89-2333 FAX 0476-89-2334  
<http://www.naritacity.com>  
成田市、佐倉市、印西市、富里市、香取市、山武市、船橋市  
千葉市(花見川区、美浜区)、習志野市、八千代市、四街道市  
酒々井町、栄町、小林、安食、多古町、横芝光町、芝山町、神崎町  
発行部数: 500,000部

## 邪馬台国への道のり Part. I 東アジアの地勢から浮かび上がってくる渡航ルートとは

邪馬台国の道のりについては多くの説が存在し、その数は少なくとも数百に上るのではないかとされています。中でも畿内説と九州説に準ずる説を支持する学者は多く、九州説の中には、そこから邪馬台国が東方へ移動したという東遷説も含まれます。たった一つしかない史実に対して、これほどに見解が分かれ、長年に渡り議論が続けられているということは、それだけ注目を浴び続けている重要なトピックであるということに他なりません。下記に、これら諸説が提唱する道程の概略を、一応の目安として地図にプロットしてみました。こうして一度に閲覧してみると、九州や四国、近畿地方はもちろん、果ては日本海側や山陰、山陽地方を含む、ほぼ西日本全域を網羅していることから、いかに定説が存在しない状態であるかを伺い知ることができます。

多種多様の提言がある背景には、邪馬台国の歴史が単に遠い昔の出来事ということだけでなく、魏志倭人伝等、限られた史書の記述しか頼れる文献がな

く、それらの検証方法や解釈が定まらないことにあります。また、史書の内容を文面のままに解釈することは難しく、記載されている方位を初め、距離や里数等も実数ではない、と提唱する学者が少なくありません。しかしながら前述したように、古代の地理学や天文学は現代人が想像するよりも優れたレベルに到達していた可能性が高く、そう簡単に「虚妄の数字」とか「無駄な議論」と一蹴するべきではありません。ましてやこれまでの議論は、想定される海や陸の渡航経路を実際に行き来した上での経験則に基づくものではなく、むしろ、紙面上での理論を展開しているだけにすぎない場合が多いように伺えます。実際に各地を旅しながら、その風土を肌で感じるだけでなく、時には小舟で海を渡り、潮や季節風の感覚を掴むことにより、これまでとは違った角度から様々なデータを検証し、新たな閃きが生まれるかもしれません。その為、今一度、膠着した議論をリセットして振り出しに戻すことが大事です。

果たして史書の記述を、ありのままの自然の大海と大地とに照らし合わせながら、邪馬台国に辿り着くことができるのでしょうか。もし、古代中国の識者の宝庫とも言える史書の根底に、西アジアで育まれた優れた文化に裏付けされた知識と知恵が秘められ、史実に基づく的確な記述がなされているとするならば、例えば地図が添付されていなくとも、「魏志倭人伝」等の情報を頼りに実際の地勢を見聞しながら邪馬台国の場所を確認することができるはずです。

### 倭国は帯方郡の東南方向にある島

「倭人在り帯方東南大海之中」倭の人々は、帯方[郡]の東南にあたる大海の中の[島々]に住んでいて、山や島によって国や村をつくっている

魏志倭人伝の冒頭に明記されている通り、邪馬台国への旅路の起点は朝鮮半島の帯方郡に存在し、まず、その場所がどこであるかを見極めることが重要です。帯方郡とは三-四世紀、古代中国によって限定的な支配が

試みられた政治経済の拠点として朝鮮半島の中西部、楽浪郡の南に位置した、およそ平壤の南方から帯水周辺までを囲む広い地域を指します。その地域には前述した東夷、濊族や漢民族だけでなく、いつしか中国からの移民も大勢訪れてくるようになりました。街の発展には陸海路の便が不可欠ですが、帯方郡北部に隣接する楽浪郡の主要都市、平壤界隈には大同江と呼ばれる大きな河川が南北に流れ、周辺は広大な平野に恵まれていることから、陸海路双方の発展に大変適していました。その下流は平壤南方から西に向かって大同江河口から黄海へと注がれ、港街の発展にもつながっています。楽浪郡に隣接し、大同江南方に位置する帯方郡も、その地勢の恩恵を受けながら徐々に街が興され、人口が増えていきました。その結果、帯方郡は楽浪郡と共に、倭国と中国との文化交流における朝鮮半島の一大拠点として、特に魏の時代以降に栄え、中国からも一目置かれる存在となったのです。

その帯方郡から東南方向の遥か彼方に、山の多い島々から成る倭の国が存在し、国や村が造られていたのです。帯方郡の東南にあたる地域を地図で検証すると、例えば起点を大同江河口

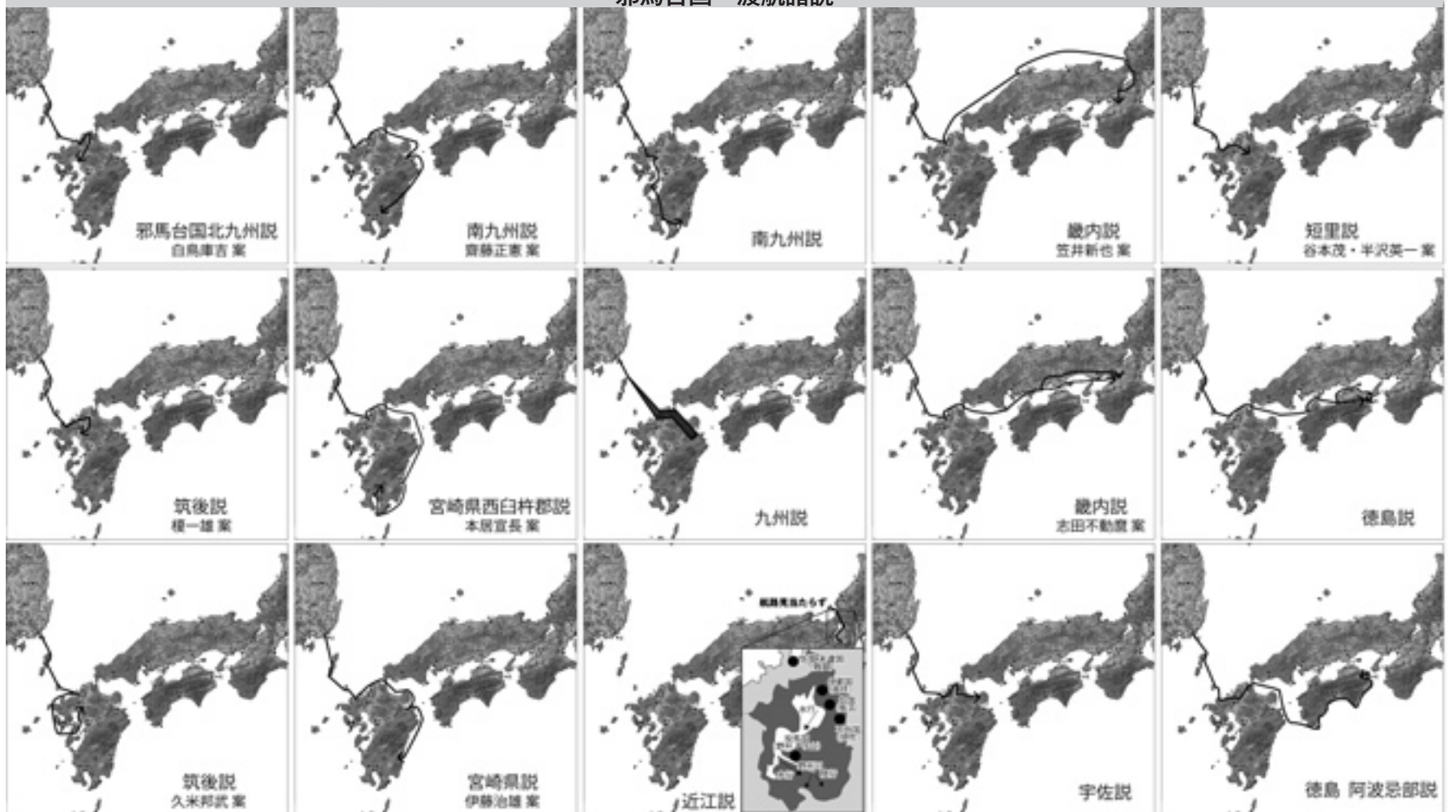
周辺と仮定した場合、東南135°の方向は北九州市から大分の由布岳、豊後大野の東を抜けて日向灘に至ります。ソウルを起点とするならば、東南方向には大分県の国東半島、両子山を越えて高知県西の沖の島があります。また、およそ東南方向となる112.5°から157.5°のエリアを見ると、大同江河口の起点では、東南の東側が大分から奈良の桜井市を抜けて熊野灘に至り、その南側は奄美大島東の喜界島に至ります。すなわち、九州、四国全土、及び、紀伊半島の南部を含むことになります。起点をソウルとしても、東の端は淡路島北、西は屋久島となり、こちらも九州、四国全土を含みます。いずれにしても帯方郡の東南とは、倭国へ向かう方向を示唆する道標であり、そのエリアに該当する九州、四国全土、及び、紀伊半島一部のどこかに邪馬台国が存在したのです。

### 帯方郡から船で始まる倭国への旅

[帯方]郡より倭に行くには、郡を出発して、まず海岸に沿って航行...

まだ陸路が十分に発展していなかった古代社会においては、「草木茂盛し、行くに前人を見ず」という史書の記述にある通り、陸路と言っても、実際には

### 邪馬台国 渡航諸説



※この他の渡航説がございましたら、編集部までご連絡ください。

人が通る山道さえ存在しない雑木林、山、崖、橋の無い川、そして時には毒蛇等、行く手を阻む地理的要因が多々存在しました。特に朝鮮半島北部では中国の河北省、江蘇省の渤海、黄海側と違い、平野部が全体の2割程度に限られ、しかも山岳や崖が連なるといふ地形を有する為、海岸沿いを徒歩で旅をするよりも、船での航海の方が早くて安全でした。それ故、中国から朝鮮に渡り、朝鮮半島を南北に行き来する際には、天候にさえ恵まれれば、例え長い航海であったとしても、船で渡ることが賢明であると認識されていたのです。こうして古代社会において中国と朝鮮半島の行き来が増すにつれ、渤海湾を臨む中国河北省から渤海海峡を越えて西朝鮮湾を渡る朝鮮半島への海路は、交易の為に重要な意味を持つようになり、それが文化と人の伝播の原動力となったのです。そしていつか、朝鮮半島から黄海に面する帯方郡の港が、倭国へ向かう出発点として知られるようになりました。

**帯方郡の起点は大同江河口周辺**

倭国が島々からなる国ということもあり、邪馬台国への旅は移動手段としては船が多用されました。その起点となる港が朝鮮半島の帯方郡です。帯方郡治、及び、その港の場所については諸説があります。韓国のソウル近郊にあったとする説や、平壤の南西にある安岳郡に比定する説、また平壤南方の沙里院にある唐土城を帯方郡治とする説等が著名なものです。真相を見極める為にも、今一度、朝鮮半島の歴史と地勢を振り返ることにします。

朝鮮半島では前一世紀頃、漢朝により設置された楽浪郡が中国の出先機関として、早くから存在していました。それから400年以上に渡り、楽浪郡は様々な文化交流の拠点として大きな役割を担い、特にその中心地である平壤の発展は目覚ましいものがありました。中国と倭国を行き来する頻度が増加するにあたり、まず渤海海峡から西朝鮮湾

を抜けて朝鮮半島の平壤南西にある大同江河口近郊の港に至る海路が見出され、発展したと考えられます。大同江河口は直線距離において中国遼寧省の大連から最も近い位置にあるだけでなく、その緯度は河北省天津市、大連市とほぼ同位置、つまりおよそ真東にあたり、航海の旅においては絶好の指標となります。そして河口周辺にはスク島を始めとする幾つかの島が並び、どの方向から航海しても、到達地点の指標としてわかり易いのです。また、大同江河口より南方は、長山半島を超えると小さな島々が一気に増加し、海岸線も複雑に入り組み始めることから、港町として発展するにふさわしい地形に恵まれた港湾がなかなか見つからなくなります。よって、平野の地の利を活かした陸路にも恵まれ、大同江の流れに沿って平壤につながる大同江河口は、朝鮮半島における古代の港として必然的に発展しました。中国と朝鮮半島、そしてその南の倭国を結ぶ中継地点となり得る港街は、こうした朝鮮半島の地勢からして、大同江河口周辺しか考えられないでしょう。

これら帯方郡の地理を理解する為には地図を参照しながら、中国の太平洋岸に広がる黄海を渡る、海の旅の距離感を掴むことも重要です。黄海の西側には河北省が存在し、その大都市である天津市の天津港から真東の大連までは直線距離で約340km、そして大連から平壤南西の大同江河口までは約300kmあります。合計すると640kmを超え、直線距離にして平壤から日本の対馬を超える程の距離に値します。しかしながら古代の船旅は海路の見定めが難しく、天候にも左右されやすいためだけでなく、夜間の航海が難しかった為、停泊をしないまま何日も航海を続けるような長距離の船旅は避けられていました。実際には船で航海できない程の荒れた海の日も多く、その為、1日の渡航距離を平均すると20km程度にも至らなかったと想定されます。すると300kmの旅では、例えどこにも寄港せずに航海したとして

も、2週間前後はかかることになり、しかもその長距離を途中の寄港なく一気に航海するには、多くの危険を伴いました。それ故、史書の記述にもある通り、古代では極力、陸地に沿って船を航海させることが常でした。

こうしたことから、河北省から大連に向かう際にも、まず海岸沿いに航海し、南側からは山東省蓬萊市を経由して渤海海峡に並ぶ島々を介し、北側からは遼東湾を経由して大連に到達するというような安全な航路が、より現実的であったと考えられます。その場合、天津市から大連までの航海距離は南側の山東省経由で560kmとなります。その後、大連から平壤までを西朝鮮湾沿いに航海すると仮定すると、その合計の距離は約1000kmに達します。天津港から平壤までの直線距離は約640kmですから、どちらにしても大変な距離の船旅です。よって目的地である朝鮮半島西側の拠点となる港は、海上のアクセスに優れ、物資の補給をするにも好条件の陸路に恵まれていることが最重要視されたことでしょう。

長距離の船旅では、着岸する港において十分な食料や水の補給をすることが重要課題の一つとなりますが、平壤周辺には衛氏朝鮮の発展と共に、内陸との行き来がしやすい陸路が存在し、河口周辺にも陸路が広がっていたようです。このような地理的利便性と渡航上の安全性という観点からして、平壤の西南方向に位置する大同江河口の周辺以外に、古代の朝鮮半島において、港街が発展するにふさわしい場所は存在しません。そして、この大同江を境目として楽浪郡より枝分かれた帯方郡でも、当初は大同江河口周辺にしか主要港としての条件を備えた場所は存在せず、必然的に同じ地域に港街が造られたと推測されます。よって帯方郡でも大同江河口の南側に港街が発展し、そこが中国と倭国を結ぶ重要な中継点になったと考えられます。

**倭国への起点はソウル？**

倭国へと向かう帯方郡の起点

が、今日のソウル近郊ではないかという説もありますが、まず、前述した立地条件の問題が指摘されています。大同江河口からソウルまでは、海岸沿いに更に270km程、海路を延長することになります。しかもソウル近郊のインチョン周辺の海岸は、朝鮮半島最西部よりもおよそ200km東側に入り組んでいる為、中国からのアクセス、及び朝鮮半島南方への航海を考慮しますと、時間と労力の無駄が多く、中継拠点としては考えにくい場所と言えます。無論、大同江河口の港に停泊した後、ソウル近郊の港にも停泊し、そこを帯方郡の拠点としたと考えられないことありませんが、中国との行き来の比重がより高いことを考えると、この片道270kmの航海路が大変な負担となります。

中国河北省天津港から湾岸沿いに朝鮮半島を訪れると、その渡航距離はおよそ1000kmになります。そして大同江河口から南に下り、狗邪韓国まで船で渡ると、それもまた、およそ1000kmです。つまり大同江河口は中国と狗邪韓国、どちらからも同距離という、ちょうど中間地点にあり、実にバランスの良い位置にあるのです。こうして大同江を境とし、楽浪郡から枝分かれた帯方郡の古代港街が、その河口に栄え、いつか倭国につながる帯方郡の拠点として認知されるようになったと考えてはどうでしょうか。

もう一つ大事な点は、ソウルの街の発展は、平壤よりもかなり後の時代であったことです。朝鮮半島の発展は中国により近い、半島の北側に位置する平壤の方から始まりました。それ故、平壤よりおよそ200km弱、南側に位置するソウル近郊は、平壤よりも街の発展がかなり遅れていたのです。衛氏朝鮮の時代以降、朝鮮半島の交易路沿いでは平壤を筆頭に人口が急増し、寄港地周辺の街が都市へと成長し始めましたが、ソウルの街が発展したのは、それからかなり後の時代でした。それ故、帯方郡が設置された時期に倭国へ向かう船の起点となる主要港が、既

にソウル近郊に存在していたとは考えにくいのです。

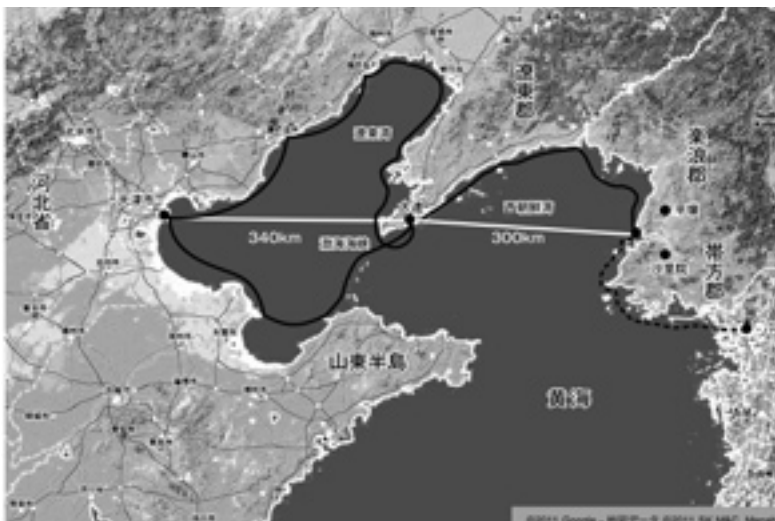
結論として、中国と倭国の中継地となるべき立地条件を兼ね備えた地点は、平壤の南西部にある大同江河口沿いにあったと考えられます。それを決定づける記述が後漢書に記載されています。魏志倭人伝(三国志)では、邪馬台国への出発点が帯方郡であり、「帯方郡より女王国に至る間の距離は一万二千里」と記載されています。ところがその後、編纂された後漢書では、「楽浪郡の[南]の境界は、邪馬台国から一万二千里も離れている」となっています。つまり、帯方郡の起点は、楽浪郡との境界付近にあると限定出来る訳です。その境界線が大同江であり、起点となる港が大同江河口の南側に存在したと考えれば、つじつまが合います。

ここで注意したいことは、この邪馬台国への起点とは、必ずしも帯方郡治である必要はなく、単なる主要港としての位置づけでも良いということです。昨今、平壤南方の沙里院付近の古墳から「帯方太守張撫夷博」の銘が発見され、帯方太守の墓があることが確認されました。墓の存在が必ずしも帯方郡治に繋がるかどうかは定かではありませんが、いずれにしても、そこからおよそ50kmも離れていない大同江河口に隣接する港が倭国への起点となる主要港として、帯方郡治の管轄下に置かれていたと想定して間違いのないでしょう。また、時を経て朝鮮半島南部に人口が増加するにつれて、帯方郡治が沙里院周辺、もしくは大同江河口の南部からソウルへと移転したという可能性にも留意しなければなりません。よって、帯方郡治はソウルには無かったと決めつける必要もありません。帯方郡治が平壤南部にあらうとも、時代の流れに沿って例えソウルに移転したとしても、倭国への起点となる港の位置が変わりはなく、それは当初から大同江河口と認識されていたのです。その帯方郡の港から倭国に向けて旅立つこととなります。

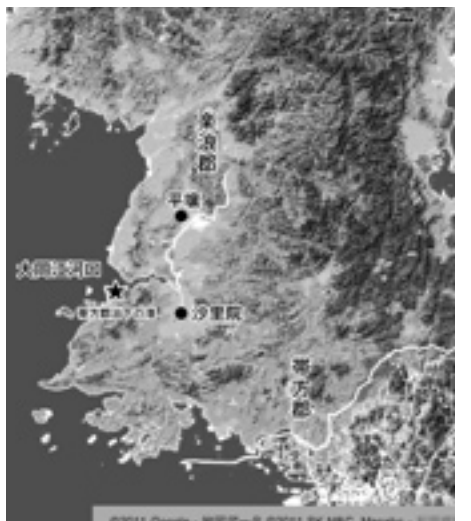
(文：中島尚彦)



大同江河口を起点とした東南方向



中国河北省から朝鮮半島への渡航図



大同江河口、及び、平壤周辺図

# 成田ぐるメNAVI

第70回

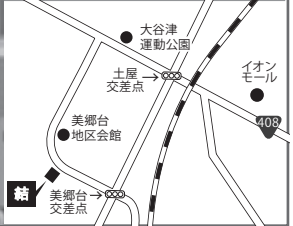
新オープン！料理も満足のこだわり居酒屋  
結

美郷台に新登場した居酒屋、結に注目したい。小奇麗で明るい店内は、オープンキッチンを囲むカウンター席にお座敷があり、20数名まで、ゆったりと座れる。オーナーは八丈島出身の建築施工家であり、お酒の通だ。日本酒は千葉産を揃え、純米の甲子(きのえね)、吟醸辛口の梅一輪が600円。純米生酒の宝田舞、また北総の辛口という地酒も720円の小ボトルを用意している。焼酎は麦が鹿児島佐藤と中々、芋は赤兎馬と蟻など、オーナーの酒に対するこだわりが見られる。特筆すべきは食事メニューだ。まず鉄板は、豚バラと玉ねぎのみそ焼き鉄板が580円、鶏軟骨とにんにく芽

の鉄板、もやしとひき肉の鉄板もボリュームがあり美味しく、安い。味もさほど濃くないので、お酒なしでも十分に食べられるのが嬉しい。それに合わせた御雑炊は420円と良心的。焼きそば大盛りで500円というのも気持ちよい。

また、揚げ物が大層美味しく、骨付き鶏の唐揚げ480円、川エビの唐揚げ、てんこ盛りポテトフライもボリュームたっぷりで共に420円だ。どれをとっても失敗はない。豆腐サラダは580円としては成田ベストの味。かつおぶしと海苔のミックスもGOOD。おまけに牛たたきの和風マスタードソースの680円はいける！今夜も結で乾杯。

結  
成田市  
美郷台2-14-30  
☎0476-24-2777



総合評価★★★★☆

# アンビル シゲルの 木まぐれコラム 第20話

「消えゆく木材たち」

日本は国土の約70%近くを森で覆われた世界有数の森林国です。しかしながら地球規模で見ると森林破壊は進む一方で、何と1秒間あたりテニスコート10面分以上の森が失われているそうです。南米や東南アジアの熱帯雨林は特に深刻ですが、それらの地域には木を切り倒さなければ生活が成り立たない人々が多く暮らしており、問題は複雑です。伐採された木材は日本にも輸入され、私自身も作品に使用しています。

行き過ぎた伐採により絶滅の危機に瀕している樹種もあり、少し前までは当たり前で買えることができた木材の中にも、取引が制限され入手が難しくなったものがあります。ある樹種が絶滅の危機に立たされると、それと良く似た別の木材が代替品として出回ります。そしていつの間にかその材もカタログから姿を消し、また別の産地の良く似た木材が紹介されているという具合です。木工をはじめた当初は、このようなサ

イクルを知らず、次々に登場する美しい木材を買うことが楽しくて仕方がありませんでした。しかしその状況を理解してからは、希少価値の高いこれらの素材で作品を作ることが、以前ほど楽しく感じられなくなり、それ以上にカタログから消えたあの木はどうなったのだろうか？と考える事が多くなりました。そして同時に材料の良さを前面に押し出した作品を作ることに違和感を覚えるようになって来たのです。素材の希少性や美しさに頼ることなく、高い技術や優れたデザインを通じて見た人の心に何かを訴えかけられる作品を作っていくこと、それを木工家としての今後の課題にして行きたいと思っています。

木工家 アンビル シゲル

1971年生まれ。主にギターなどの弦楽器の製作を手掛ける木工家。1998年に単身渡米し、アリゾナ州にある弦楽器製作学校に入学。帰国後、千葉県内に自らの工房を構える。木材に対する愛情に溢れ、そしてまた造詣も深い。



# 自然を感じながらゆったり寛ぐ、極上温泉リゾート



「大和の湯」効能  
腰痛、神経痛、筋肉痛、関節痛、アトピー、五十肩、うちみ、運動麻痺、関節のこわばり、肌あれ、くじき、痔症、冷え症、慢性消化器病、後回復期、切り傷、疲労回復、健康増進、やけど、風邪の予防など

大和の湯 成田の命泉  
営業時間 10:00AM~10:00PM 入館料 平日：700円 土日祝：1,000円  
年中無休(全館禁煙) 小学生の入館料：300円  
未就学児の入館はご遠慮ください (大人同伴の入館の場合)

成田市大竹1630  
☎0476-28-8111  
www.yamatonoyu.com

# 特選 海鮮丼 980円



<平日限定20名>  
1,000円以上のご飲食でドリンク1杯無料  
キャンペーン実施中

至安宿 16 成田安宿ハイパス 至成田空港  
至安宿 16 大和の湯 成田 至成田市街地

# AQUAVILLE

カリフォルニアのおいしい水 “アクアヴィル”  
お手頃な価格でお届けします。

500ml×24本  
898円  
※一部地域、厚紙は無く  
送料込み



携帯でのご注文はこちら



フィットネスハウス  
0476-89-3111

# 父の日フェア！ お父さん、いつもありがとう

## リクライニングチェア

### 本革仕様

高級感あふれる本革の張り地  
映画鑑賞や読書にも最適  
ここがお父さんの特等席！

なんと！  
この価格で本革素材！  
しかもオットマン付き！

RC33 オットマン付 ¥32,800  
RC37 ¥29,800

RC22 ¥23,800  
RC15 ¥12,800  
RC27 ¥21,800  
RC17 ¥14,800

360度回転、ヘッドレストの高さ、角度も調整可  
オットマン付

木製フレームの柔らかな雰囲気と、コンパクトなデザインが人気  
オットマン付

## 書斎用家具

世界70カ国で愛用されている北欧家具  
TVILUM-SCANBIRK

選べる3色  
選べる6色

81001 ¥13,800  
48068 ¥6,980  
30655 ¥9,800  
30678 ¥11,800

80550 ¥9,800

## BASIX

シンプルで様々な場所にフィット！

COE161 ¥4,980  
COE187 ¥14,800  
COE142 ¥5,980

## ガーデン家具

GCT009 ¥7,980  
GCT010 ¥8,980  
GTT031 ¥15,800  
GTT055 ¥21,800  
GBT630 ¥35,800

## ファニチャーハウス www.furniturehouse.co.jp

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡158  
TEL: 0476-24-5111 FAX: 0476-24-5112  
営業時間：平日10:00~19:00 土曜日12:00~17:00 日祝日 休業

# 未病を治す

横山瑞生

第79回

自分の健康は自分で守る

北国の春によせて

もう幾年前のことでしょうか。長野に向かう列車の中から窓の外を眺めていると、山に緑の息吹きが出始めた頃、ひときわ白い花をつけている木があちこちに目に留まりました。当時はまだ横川のトンネルを抜けると軽井沢の駅で、周囲は染井吉野が満開に近く、列車が徐々に進むうちに白い花が…。これぞコブシと確かめられた。北海道から九州に至るまで山野に分布し、観賞用に公園や街路樹として植えられてもいます。コブシは落葉高木で大きなものは20メートルにも達します。六弁の白い花は、直径6～10センチにもなり、香りもよいものです。

この時、この列車に乗ったのは、長野県鍼灸師会の主催による、講演依頼でのことでした。講演を明日に控えたその日の午後、会の計らいで戸隠高原に車で送って頂き、戸隠神社に向かい、坂を上り中腹に至った頃、ここにもコブシの木々が点在していたのを今も脳裏に鮮やかに思い出すことができます。その折、千昌夫の「北国の春」は、作詞家がこの森での想いを詩にしたとの説明を受けました。誰でも彼の故郷辺りに身を留めて詩を作ったと考えるのが当然と覚えることでしょうか。

さて、コブシは漢名「拳」「古不之」、中国名は辛夷。

この花の開花前、つまり蕾のうちに摘み取り、陰乾しにします。十分に乾燥させた後、密閉容器に入れて、暗い所で保存しましょう。

“薬理作用としては血圧降下作用、抗アレルギー作用、抗炎症作用、抗菌作用、そして薬効は鎮痛、鎮痙薬に用いる。具体的な薬用としては鼻閉(鼻づまり)、蓄膿症には辛夷3g、蒼耳子(オナモミ)10g、白芷2gに水500mgを加え、約30分煎じて半量となし、一日三回に分けて服用する”『日本草薬全書』より。

いずれにしろ、最も世間に知られているのは、鼻のやまい、鼻炎、蓄膿症(副鼻腔炎)でしょう。

熊がコブシの木に登って、この蕾を食べているところを見かけたという話を聞いた事があります。実はこの稿を書いている最中、私の書斎のすぐ前にヒヨドリ(ついでに)の番がやって来て、盛んに咲き始めた花弁を啄むのを見ました。永い人生の中で初めて目にしました。彼、彼女らも蓄膿症で辛夷が効くことを知っていたのでしょうか。

漢方に処方されているものとしては、辛夷清肺湯、粘っこい痰が咽にからん

だり、鼻づまりや膿性の鼻汁、頭痛、口渇などの症状を訴える蓄膿症に。辛夷、黄芩、知母、山梔子、枇杷葉、麦門冬、百合、升麻、石膏。

また、鼻づまり、蓄膿症、慢性鼻炎には葛根湯加辛夷川芎、葛根、大棗(ナツメ)、麻黄、甘草、桂枝、芍薬、川芎、生姜、辛夷が処方されます。

処方や薬剤名は専門的になりました。漢方薬を扱う医師や薬剤師に相談して下さいよろしくお願いします。



コブシの花

よこやまずいしょう  
**横山 瑞生**  
 1939年、茨城県常陸大宮市生まれ。大塚敦節氏に漢方を、小川晴通氏に鍼灸を師事し、東京医療専門学校卒業後半年で母校の講師となる。中国医学研究会設立に参画、日中医療普及協会会長、東京都日中友好協会常任理事等、日中の友好関係へ尽力。  
 現在、一本堂横山鍼灸療院院長、東京医科大学にてホリステック医学を講義中。「カラー版鍼灸解剖図」「アレルギーはツボで治る」など著書多数。  
 診療所：東京都新宿区本町10 四谷エースビル 101  
 お問い合わせ：03-3359-6693

**求人** 正社員 パート 勤務地：成田市

## 成田屈指の安定企業です!

最低時給 1000円! 正社員大歓迎 若手&女性も活躍中

**募集職種**

- コールセンター受付スタッフ** (正社員) 給与▶年取 **280~360万円**  
 内容▶電話・E-mail・faxによる注文受付や問合せに対応  
 資格▶タイピングスキル必須、明るく電話対応・接客が出来る方、経験者優遇
- 楽器・音響機器販売サポート** (正社員) 給与▶年取 **250~350万円**  
 内容▶音響機器・楽器の販売、問合せに対応  
 資格▶タイピングスキル必須、楽器・音響機器の販売経験・知識のある方
- 経理アシスタント** (正社員) 給与▶月給 **21万円~**  
 内容▶経理業務全般、または採用、労務、福利厚生などの人事業務など  
 資格▶タイピングスキル必須。実務経験2年以上の方優遇
- 梱包・ピッキング** (パート) 給与▶時給 **1,000円**  
 内容▶全国へ発送する商品の梱包・ピッキング作業  
 資格▶18歳以上、学歴・性別不問、週4日以上勤務  
 時間▶平日 / 8:00~17:00 (休憩1H) 土曜日 / 11:00~17:00  
 ※①、②、③パートも募集中：時給 **1,000円~**  
 時間▶①~③平 日 / 9:00~19:00(休憩1H) 土曜日 / 11:00~17:00  
 ※ 早出残業有り。職種により異なります。  
 休日▶日祝日、隔週土曜日、年末年始休暇、有給休暇  
 待遇▶社保完備、年2回賞与、詳細は右記参照  
 応募▶履歴書(写真貼付、自宅FAX番号又はPCアドレス明記)と職務経歴書(志願書、自己PR等)を下記アドレスまでE-mailまたは郵送してください。  
 書類選考の上、ご連絡差し上げます。 **全館禁煙**

**充実の福利厚生! 年2回賞与! 社会保険完備! 他にも色々!**

- カフェテリア** 充実の社内施設。ライブステージもあるカフェテリアでランチタイムが楽しめます!
- フィットネスジム** 最新鋭のフィットネスマシンを完備! スタッフなら無料で使用できます!
- スタジオ/ライブステージ** ライブステージで楽器を演奏する、歌うという夢が実現します。
- スポーツサークル** フットサル、マラソン、テニス等、スポーツサークルも支援しています! お昼休みは卓球で盛り上がっています!
- ハイグレード社宅完備** 独身・家族用社宅有、ライオンズマンション、家族用戸建有!
- 天然温泉無料優待** 温泉リゾート施設「大和の湯」を家族も一緒に無料で利用できます! 館内での食事やマッサージも割引あります!
- マイカー通勤OK** 大駐車場完備! みんな車通勤OK!
- その他特典色々** 海外研修ツアー(アメリカ、ドイツ、東南アジア)、社内カヨロプラクティック有、奨学金制度、無償サプリメント支給、記念日お祝い...etc

国内最大規模の楽器・音響機器販売会社 株式会社 **サウンドハウス** 〒286-0825 千葉県成田市新泉 14-3 (野毛平工業団地内) ☎ **0476-89-1777** ✉ [job@soundhouse.co.jp](mailto:job@soundhouse.co.jp) (担当：採用係)

**中古スチールデスク**  
**1,000円!**  
 サイズと型色々あります!  
 ●幅160×奥行80×高さ72cm  
 ●幅100×奥行69×高さ72cm...etc.  
 ▼携帯で確認  
 ※直接引き取りに来られる方のみ  
 野毛平工業団地 (株)サウンドハウス内  
 (株) **ネットハウス** 千葉県成田市新泉14-3  
 ☎ **0476-89-2333**

**パレット**  
**無料でさしあげます**  
 何にでも使える  
 数に限りがありますのでお早め!  
 野毛平工業団地内  
 (株) **サウンドハウス**  
 ☎ **0476-89-1777**

**編集後記**

2011年5月号より、成田シティージャーナルの誌名が日本シティージャーナルに改名されました。地域新聞ながら、グレードの高いオピニオン誌として様々なジャンルを取り扱ってきたNCJ。最近では成田市の枠組みを超えて、京都のおぼんざいや、邪馬台国関連の記事等も掲載し、多くの反響を頂いております。今後も日本各地の街づくりや歴史に関わる幅広いトピックを提供していきます! 皆様の応援に励まされて今日まで継続できたことを心から感謝し、新NCJに祝杯!

NCJ編集長 **中島 尚彦**  
 1957年東京生まれ。14歳で米国に単身テニス留学。ウォートンビジネススクール卒業後、ロスアンゼルスにて不動産デベロッパーとして起業。米国ビジネス最前線で活躍する。1990年に帰国後、成田においてサウンドハウスを立ち上げる。現在ハウスホールディングス代表、日本シティージャーナル編集長を兼務。趣味はギターとマラソン、アイスホッケー、及び日本古代史研究。